

#IG30

インディ・ゼロサーティー INDI ZERO THIRTY-030

この度は、インテジー社製・インディ・ゼロサーティーをお買い求め頂きまして誠に有難うございます。ゼロサーティーは、SUB-CタイプのNI-Cd,Ni-MH(GP3300)バッテリー専用デザインされた30A放電器です。0.0Vカット、極性指定なし、本器でバッテリーを正しく放電することで充放電容量を増加させ、内部抵抗を最小限に抑えることができます。また通常使用の場合は、ランタイム：~5%UP、電圧：1~2%UP、内部抵抗：~15%軽減する事が可能です。

- 1.まず始めに、入力ワイヤーを極性に気を付けて本体と12V電源につなぎます。（ファンを使用しない状態で放電を行わないでください）
- 2.後部上面にあるレバーを起し、バッテリーをスロットに差し込みます。（極性は問いません）
- 3.バッテリーを軽く押さえレバーを倒し固定します。
- 4.ランプが点き放電を開始します。30Aの為バッテリーの残量が少ないとランプが点かない事やすぐに消えてしまう事もあります。
- 5.放電後はユニットから取り外してください。

ご使用前に

注意：デッドショートにはリスクが伴います。よくご理解された上でご使用ください。

バッテリーや使用方法によっても異なりますが、デッドショートによりバッテリーの放出性とバッテリー電圧を高める事が出来る反面、一般的には放出容量は減ります。また、通常使用の場合と比較するとバッテリー自体の寿命も短くなります。よって、これらを犠牲にしても放出性を重視したい様なレースに適しています。また、耐久性の弱いバッテリーによっては初めてのデッドショートで使えなくなる物もあります。

<<NI-CDと最新のGP3300に対してのアメリカで主流な放電方法（デッドショート）>>

※デッドショートは、NI-CDと最新のGP3300以外のバッテリーにはお奨めできません。

- 1.バッテリーをゼロサーティーディスチャージャーに取り付けます。バッテリー残量によって異なりますが、ランプが点灯し放電を開始します。
- 2.放電が進むにつれてランプが暗くなります。
- 3.ランプサインが消えたら第一放電は完了です。走行後などで残量の少ないバッテリーに対して作業を行う場合はランプがすぐに消えてしまう場合もございます。（30A放電の為）
- 4.バッテリーをゼロサーティーディスチャージャーから取り外さずに2時間放置してください。その後、バッテリーを取り外し、バッテリーのプラス極とマイナス極をシリコンコードでつなぎデッドショート完了です。
- 5.1週間から2週間休ませて充電してください。充電の際は、新品のバッテリーに見られる様な不規則なデルタピークカットを何度も起こしますが、満充電になるまで再スタートを繰り返してください。この事で、最高の放出性と電圧が得られます。

<<通常のNI-CDと最新のGP3300の放電>>

- 1.走行後のバッテリーをゼロサーティーディスチャージャーに取り付けます。バッテリー残量によって異なりますがランプが点灯し放電を開始します。
- 2.放電が進むにつれてランプが暗くなります。
- 3.ランプが消えたら、放電は完了です。完了後バッテリーをユニットから取り外し保管してください。
- 4.バッテリーが熱を持っている場合は、十分冷ましてから（放電後30分してから）充電してください。
- 5.保管する場合は、ユニットから取り外し1週間から2週間休ませて充電してください。

<<通常のNI-MH（最新のGP3300バッテリーは除く）の放電>>

- 1.保管しておいたバッテリーをゼロサーティーディスチャージャーに取り付けます。バッテリー残量によって異なりますが、ランプが点灯し放電を開始します。
- 2.放電が進むにつれてランプが暗くなります。
- 3.ランプが消えたら、放電は完了です。完了後バッテリーをユニットから取り外してください。
- 4.バッテリーが熱を持っている場合は、十分冷ましてから（放電後30分してから）充電してください。
- 5.保管する場合は、ユニットから取り外し1週間から2週間休ませて充電してください。

☆その他、ご質問等がございましたらイーグル・サービスカウンター
0532-61-1554までお気軽にお問い合わせ下さい。